

スマートシティ実施計画（案） 概要

～協議会・部会の検討とりまとめ～

■背景

○令和元年8月 「TOKYO Data Highway 基本戦略」 公表

- ・東京都立大学を「5Gの重点整備エリア」として位置付け

○令和元年12月 「未来の東京」戦略ビジョン 公表

- ・南大沢地区を「スマート東京」先行実施エリア（※）として位置付け
（※）5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を先行的に実施していくエリア

□令和2年2月 「スマート東京実施戦略」 公表

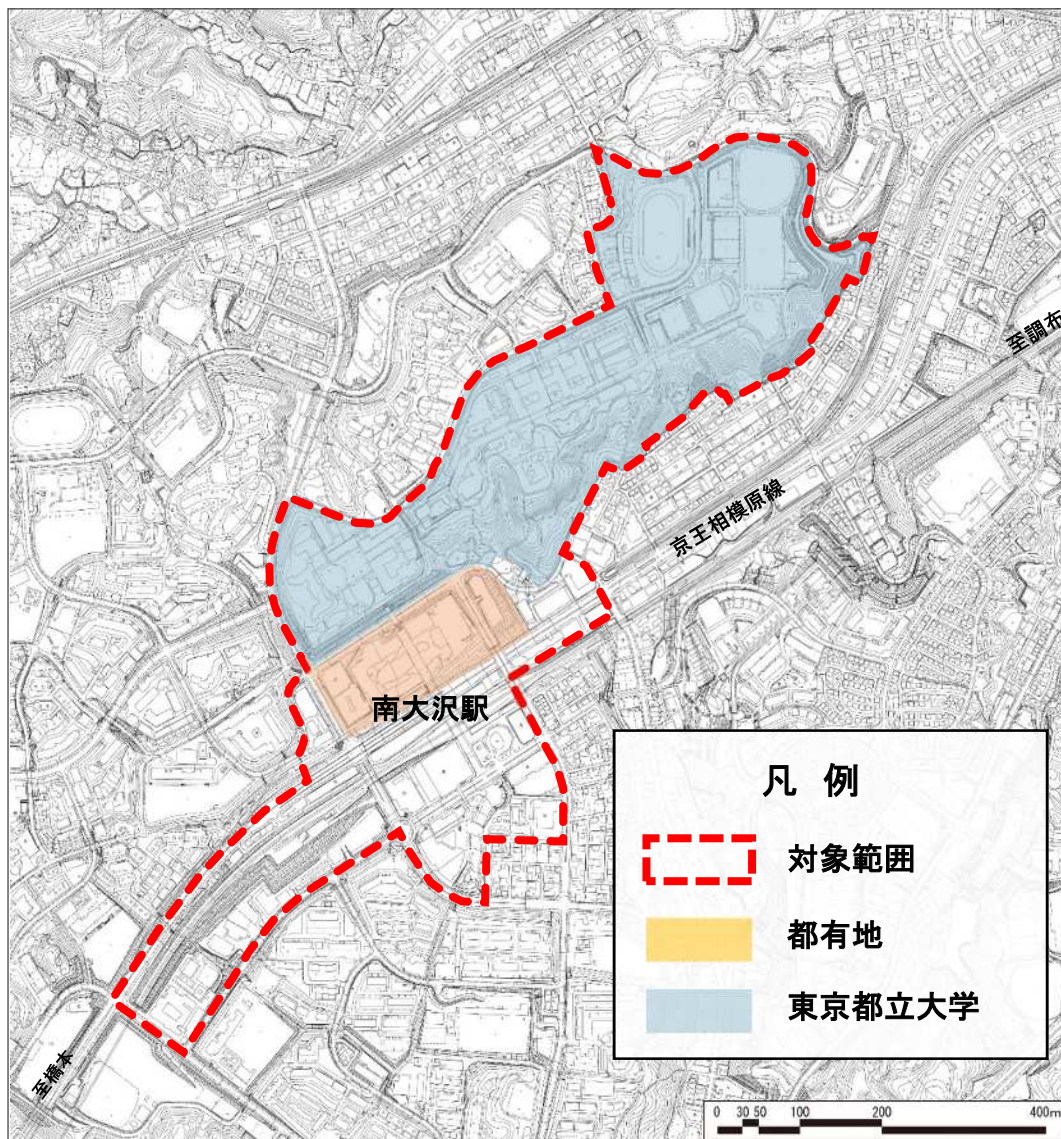
- ・「最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア」を目指す
- ・「先端技術を活用したまちづくりの検討」として「協議会の設立」や「実証実験の推進」を位置づけ

■目的

○南大沢駅周辺地区は、にぎわいのある拠点が形成され、学術研究とまちづくりが連携するエリアである一方、丘陵地のため、高齢者等の居住者の移動等が課題。

○このため、最先端技術の研究とICT等の活用を図りながら、地域の課題や対応策等について、多くの関係者との調整や合意形成及び専門的見地からの検討が不可欠である。

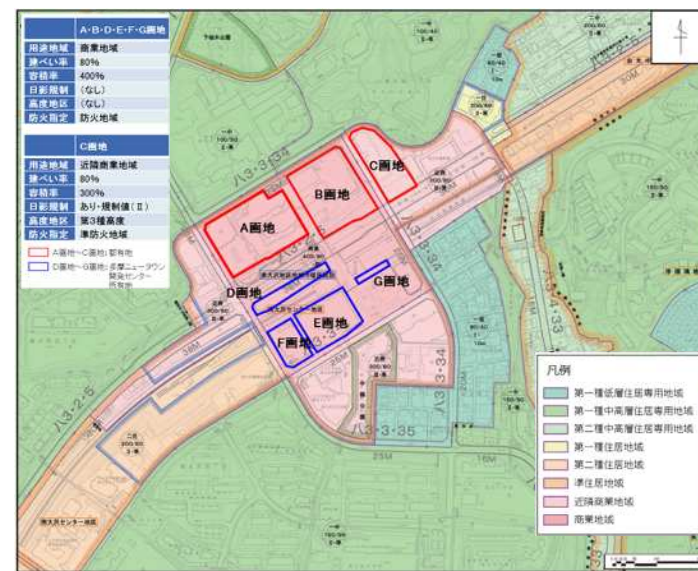
○そこで、様々な関係者が参画する「南大沢スマートシティ協議会」を設立し、中長期的な取組について検討することを目的とする。

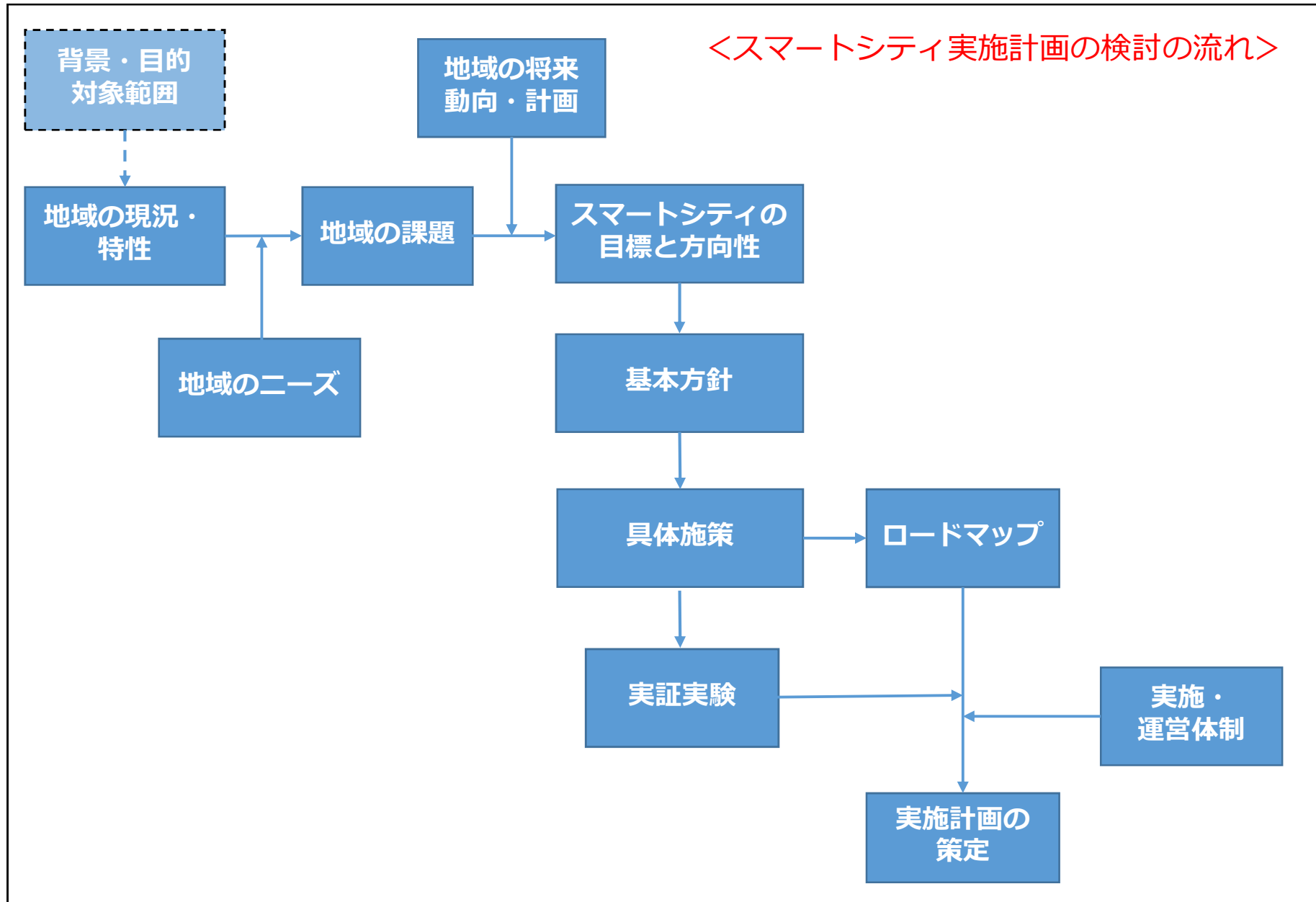


先端技術を活用したまちづくりを戦略的かつ迅速に推進するため、将来的に積極的な開発を誘導する地区（地区計画）であり、所有地等を活用できる**駅周辺地区を対象範囲**とする。

ただし、検討事項により柔軟に幅広く範囲を捉えることとする。

■土地利用状況（用途地域）





2-5. 施設立地状況 ①周辺施設と公園

- ・公共施設は、南大沢駅南部に市民センターや事務所等の「複合施設」が、周辺には「小・中学校」をはじめとする様々な施設が立地している。
- ・公園・緑地は、駅南側に位置する「中郷公園」のほか、周辺に上柚木公園、富士見台公園、大平公園、長池公園等の「地区公園」「近隣公園」「都市緑地」が配置されている。
- ・駅周辺に都立大学、駅から3 km程度に多摩美術大学等がある。

■ 公共施設の立地



出典) 「八王子市ニュータウンまちづくり方針」 (H31.3 八王子市)

■ 大学や主要な公園の位置



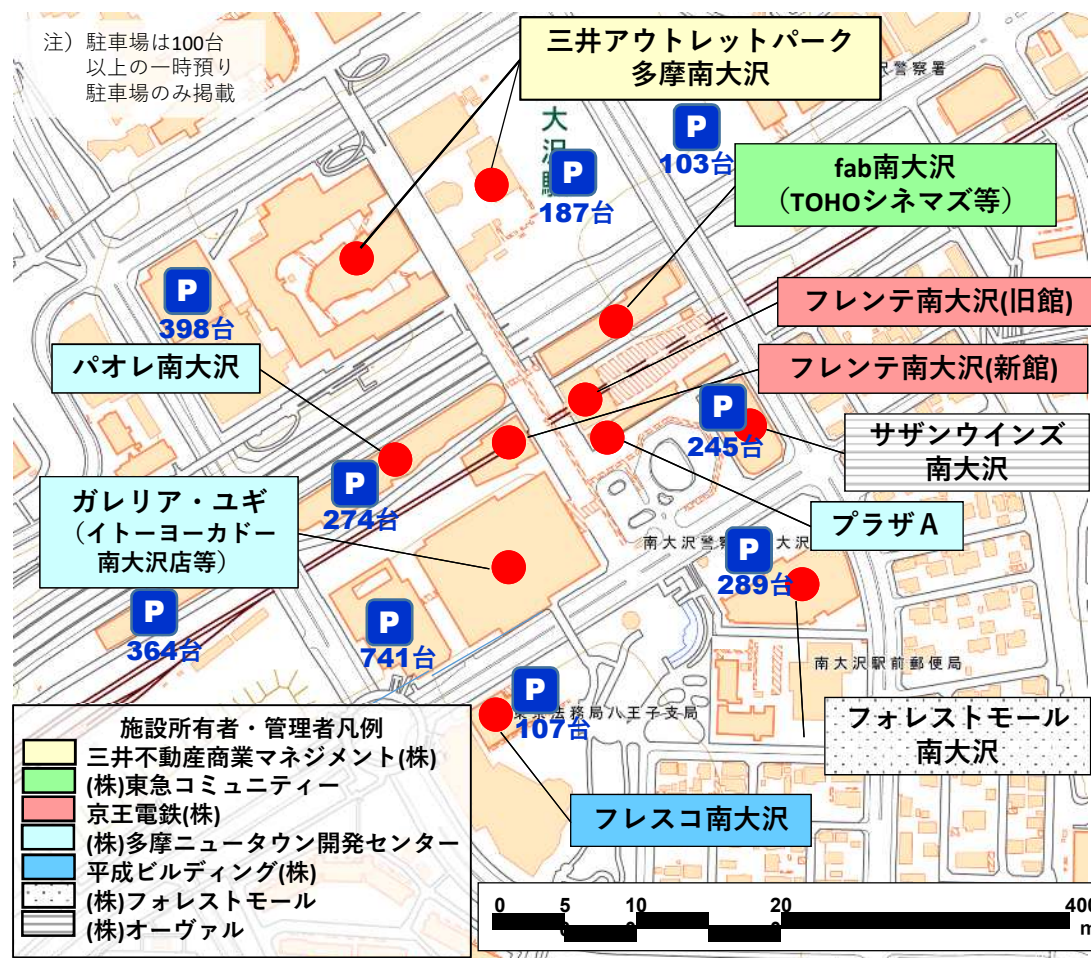
出典) 国土地理院ウェブサイト 地図・空中写真閲覧サービス <https://mapps.gsi.go.jp/>

2-5. 施設立地状況 ②商業施設と駐車場

- ・南大沢地区駅前には、三井アウトレットパーク多摩南大沢とイトーヨーカドー南大沢店等の多数の商業店舗が立地し、コンパクトな空間に駅前商業集積を形成している。
- ・一部のビルには空き店舗スペースもある。
- ・休日等においては来客駐車場の入庫待ちが発生する場合もある。

■商業施設や駐車場の立地

- 駅北側には、エリア随一の規模を誇る三井アウトレットパーク多摩南大沢（延床面積28,700㎡、店舗数118）が立地しており、広域から集客している。
- ガレリア・ユギには、イトーヨーカドー南大沢店が入居し（その他にもノジマ南大沢店等入居）、周辺地域の日常買い物を支えている。
- その他にも、南大沢駅前には、fab南大沢（TOHOシネマズ等入居）、パオレ南大沢、フレンテ南大沢（新・旧館）、サザンウインズ南大沢、フォレストモール南大沢等、多彩な商業・娯楽、飲食施設等が立地している。
- 一部のビルには空き店舗スペースも見られる。
- 各施設・ビルに駐車場が整備されている。



2-6. 交通の状況 ①鉄道利用と駅端末

- 南大沢駅の乗降客数は、駅開業以来、年々増加しており、2018年には6.4万人となっている。
- 駅端末の交通手段では徒歩79.8%と最も割合が高い。
- 過去10年では徒歩割合が低下し路線バス、車、自転車の割合が増加している。
- 地区への来訪で通学は2018年46.4千トリップ、通勤利用は年々増加してきており、2018年には20.9千トリップとなっている。
- 南大沢駅内にはリアルタイムの鉄道運行情報が提供されている。

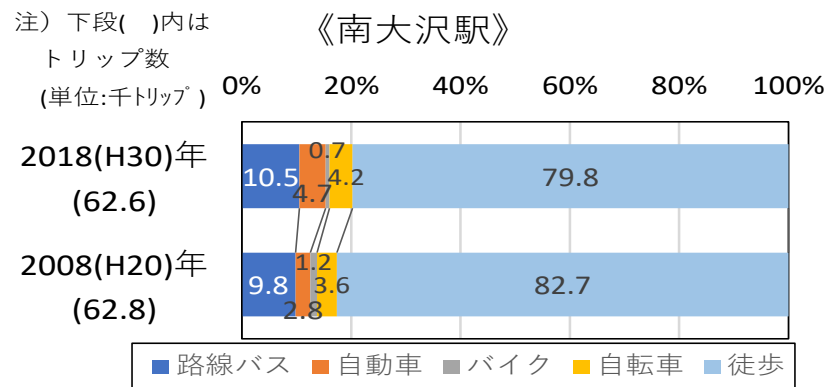
■南大沢駅の乗降客数



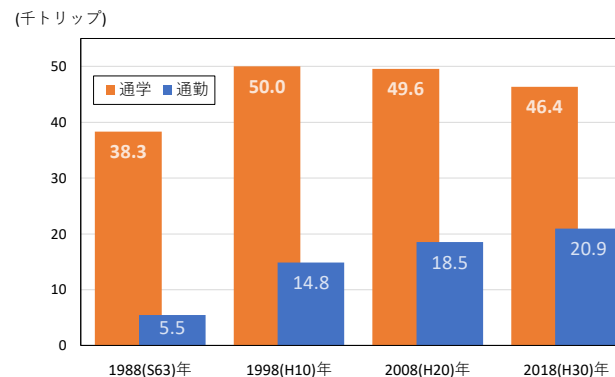
■駅内の情報表示



■駅端末交通手段推移 (南大沢駅)



■通勤、通学目的集中トリップ数の推移 (八王子市東部地域)



出典) 東京都市圏パーソントリップ調査各年 (東京都市圏交通計画協議会)

出典) 東京都市圏パーソントリップ調査各年 (東京都市圏交通計画協議会)

2-6. 交通の状況 ②歩行者ネットワークと高低差

- ・ 駅周辺は高低差のある丘陵地となっており、徒歩や自転車による駅までの移動は、高齢者や身障者等にとって負担が大きい。
- ・ 住宅団地から地区内幹線道路沿いのバス停まで、階段やスロープを經由した高低差を伴う移動区間もみられる。
- ・ 駅周辺の歩行者ネットワークは、施設内を移動する経路も存在する。

■南大沢駅周辺の概況と歩行者ネットワーク



バス停と住宅団地までの車いす用スロープ、最短経路の階段(上柚木3丁目)



住宅団地方面から駅方面への歩行者・自転車道(南大沢5丁目)



住宅団地方面から駅方面への歩行者・自転車道(南大沢4丁目)



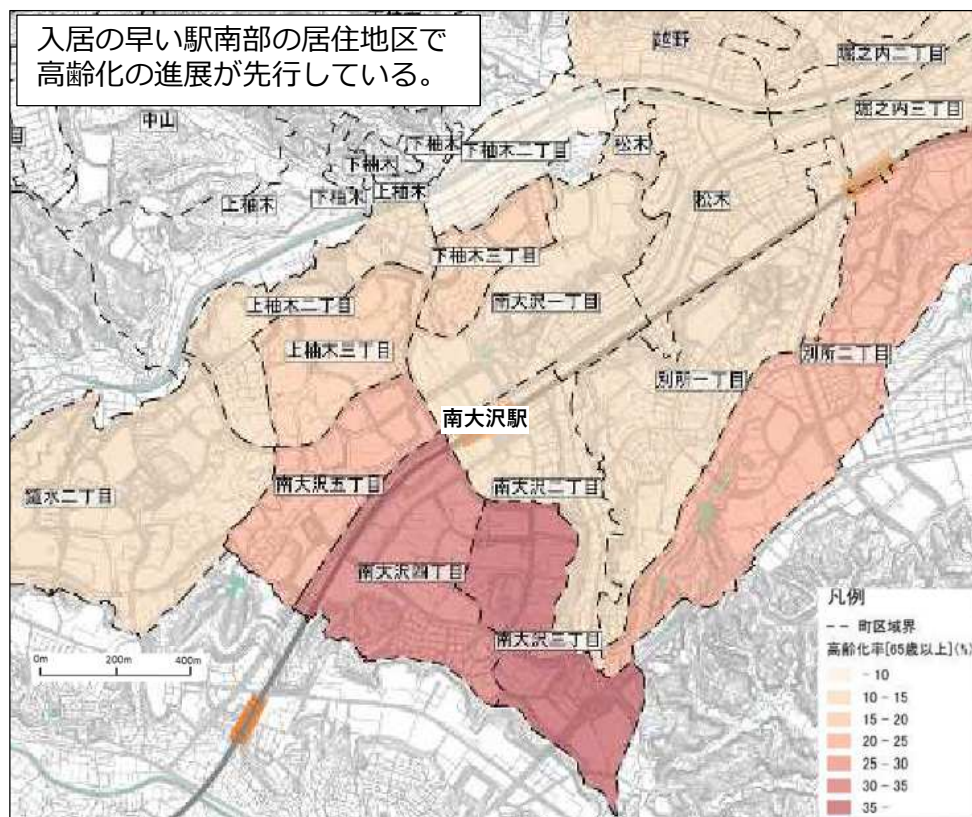
出典)「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会 第1回資料」



施設内経由の歩行者経路

- ・南大沢周辺エリアの高齢化率は、特に駅南西部で高く、南大沢2丁目・3丁目では35%を超える。
- ・駅前地区からやや離れた住宅街では、買い物が不便な地域も存在しており、地元スーパーによる移動販売車等の対策が取られている。

■ 地区別の高齢化率



出典) 「八王子市ニュータウンまちづくり方針」 (H31.3 八王子市)

■ 南大沢周辺エリアでの移動販売車サービス

イトーヨーカドーあんしんお届け便から、移動スーパーとくし丸へ



出典) 八王子市

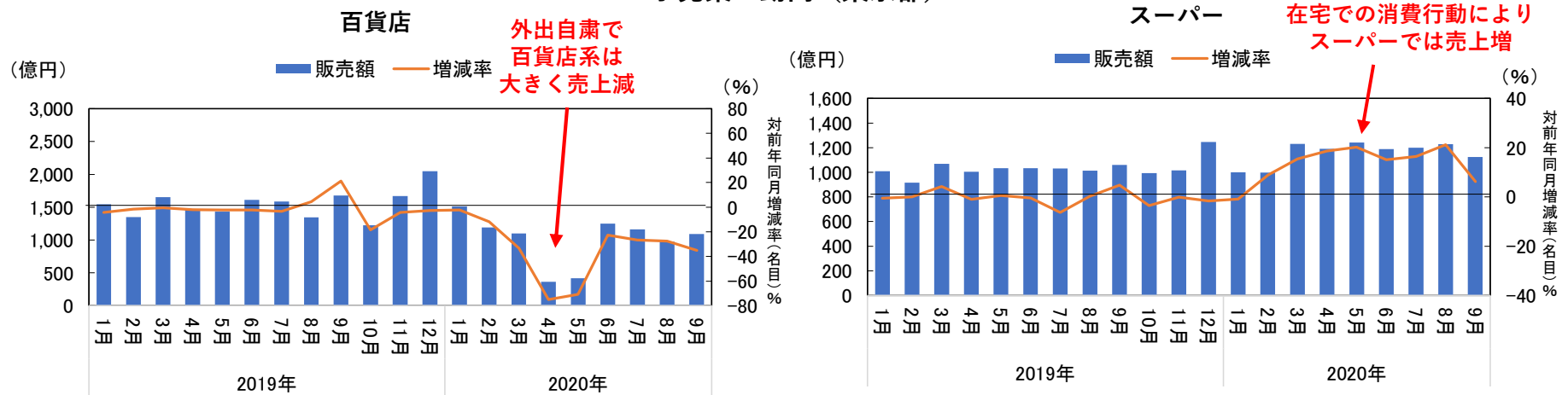


出典) 株式会社イトーヨーカ堂

2-7. 商業活動 ②コロナ禍の影響（小売業店舗の動向）

- ・コロナ禍による外出自粛の影響を受け、百貨店では販売額が大きく減少する時期もみられる一方、在宅での消費行動により、食料品等を扱うスーパーでは販売額が増大している。
- ・コロナ禍の影響やICT技術の進展により、キャッシュレス決済の割合が大きく増加している。
- ・事業者側には、会計時間の短縮、現金管理の軽減、新たな客層の発掘等のメリットがある。

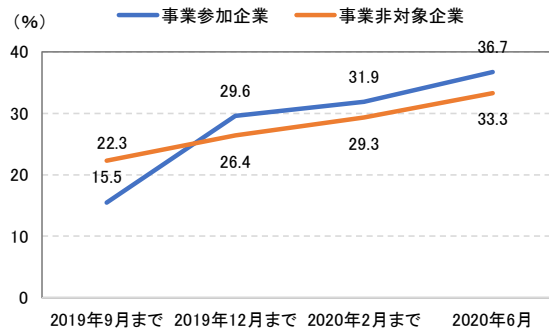
■小売業の動向（東京都）



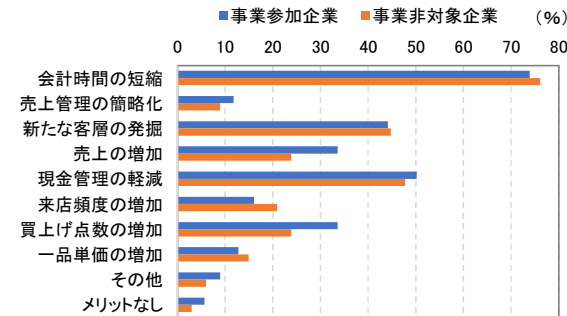
資料：商業動態統計速報（経済産業省、月値）に基づき作成

■キャッシュレス決済比率の推移

キャッシュレス・ポイント還元事業
 事業開始以降のキャッシュレス決済比率の推移



スーパーマーケットが
 キャッシュレス決済導入後に感じているメリット



資料：スーパーマーケットにおけるキャッシュレス決済に関する実態調査
 （一社）全国スーパーマーケット協会、2020年6月29日

2-8. 情報提供の状況 ①店舗・各施設の情報提供

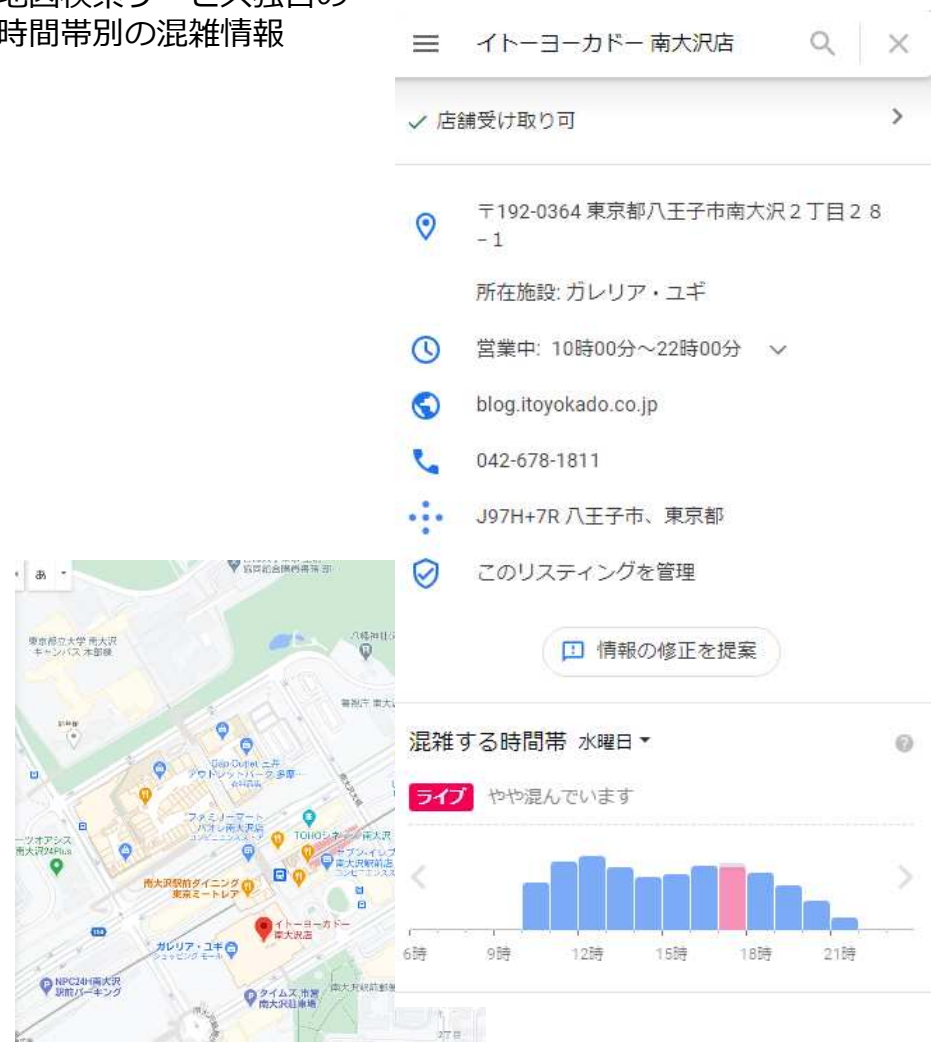
- ・ 駅周辺の幾つかの店舗では、民間サービスを活用して、日時別の混雑情報を公開している例もみられる。
- ・ また、地図検索サービスを活用した時間帯別の混雑状況を公開している例もみられる。

■ 南大沢駅周辺施設内の混雑状況



出典) 「お買い物混雑マップ」株式会社Unerry

■ 地図検索サービス独自の時間帯別の混雑情報



出典) GoogleMap

2-8. 情報提供の状況 ②鉄道、バスの情報提供

- ・京王電鉄では、スマートフォンのアプリを活用し、運行電車別の混雑状況を予測し公開している。
- ・京王バスでは、駅前バスターミナルやバス停において、案内板等により路線や時刻の情報を提供しているほか、WEB等によりバス接近情報を公開している。

■ 鉄道内の混雑



※混雑度表示は株式会社ナビタイムジャパンのサービスを利用しています。リアルタイムの表示ではなく、予測データをもとに、各電車の停車駅ごとの混雑度を見える化したものです

出典：京王電鉄ホームページ

■ 駅前バスターミナル案内表示



■ 各バス停の時刻表 (駅前)



■ 各バス停の時刻表 (複数系統発着)



一つのバス停に8系統の情報が掲載されている。

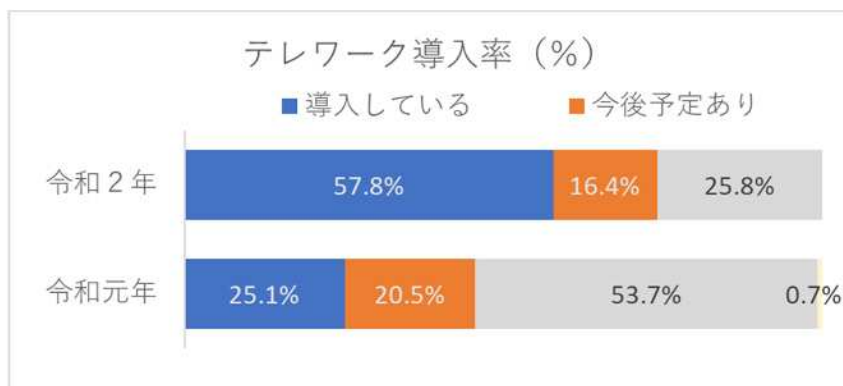
■ バス接近情報



出典：京王バス バスナビホームページ

- ・コロナ禍の影響により、本来の通勤先以外で業務を行うテレワークが増加している。
- ・テレワーク時において利用可能なサテライトオフィスやシェアオフィスは、都心部に比べ多摩地域では少なく、南大沢駅周辺には未だ立地していない。

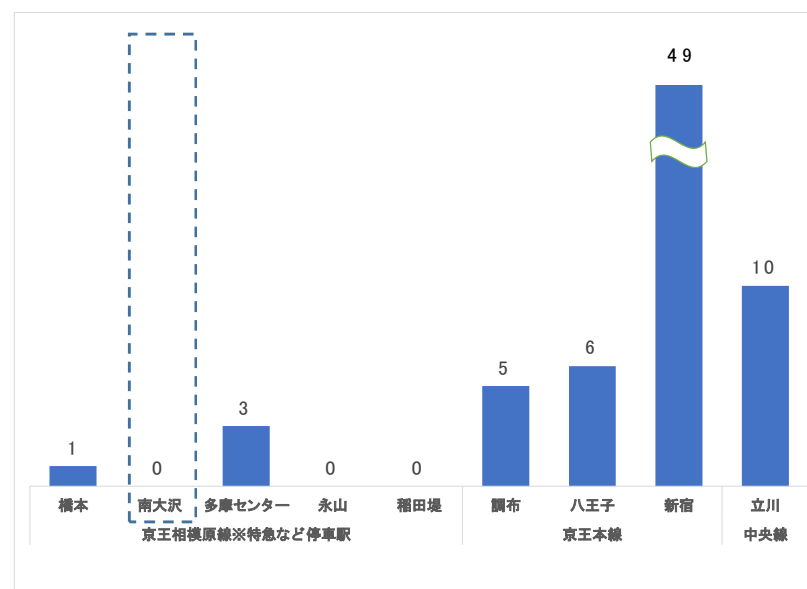
■テレワークの導入



都内に所在する従業員数が30人以上の企業10,000社
 ・令和2年 令和2年6月実施 回収率20.3% (回答数2,034社)
 ・令和元年 令和元年7月実施 回収率20.3% (回答数2,068社)

資料：「テレワーク導入実態調査」(東京都産業労働局)に基づき作成

■主要な駅別のサテライトオフィス、シェアオフィス等の立地箇所数



資料：「Tokyoテレワークアプリ」(東京都産業労働局)に基づき作成
 ※2020年11月時点

- ・「スマート東京実施戦略」では、「5G等を活用した最先端研究や社会実装の展開」「先端技術を活用したまちづくり」を、「都市づくりのグランドデザイン」では、「自動運転車を導入したフィーダー交通」「自転車や小型モビリティを使い誰もが移動しやすい交通環境」等を位置づけている。
- ・「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン」では、取り組むべき事項として「技術革新への対応」（自動運転の実現に向けた検討等）、「集約型地域構造の将来イメージ」（駅拠点の再構築等）等を位置づけている。

■スマート東京実施戦略

スマート東京先行実施エリアの整備（南大沢地区）

特 色：多摩ニュータウン西部の拠点において、学術研究（都立大学）とまちづくりが連携するエリア
 目指す姿：最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア

●5G等を活用した最先端研究や社会実装の展開

- ローカル5Gなど最先端の研究環境を整備するとともに、5G環境を活用した研究・実証実験等を推進



●先端技術を活用したまちづくりの検討

- 多摩地域の課題解決や未来のまちづくりのため、産学公連携により5Gなど先端技術を活用した実証実験などを推進
- 地元市、都立大学、地元企業とともに協議会を設立し、実証実験内容を選定

出典）「スマート東京実施戦略」（R2.3 東京都）

■多摩ニュータウン地域再生ガイドライン

<取組方針(9)「技術革新への対応」>

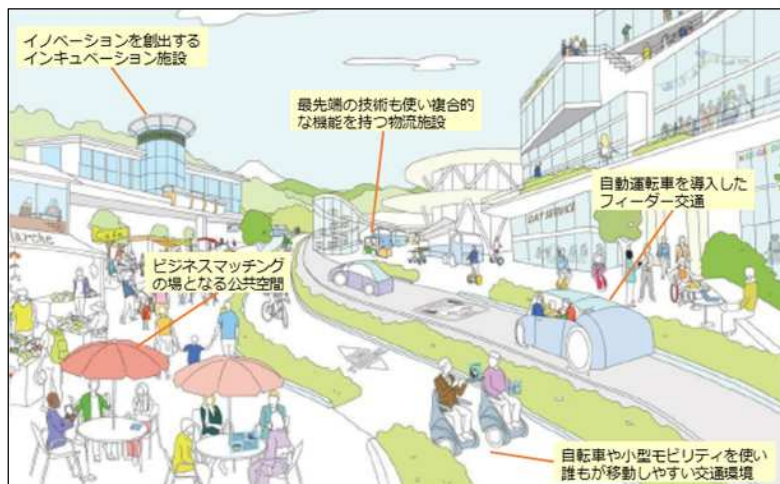
（再生に向けた取組方針）

- ・多摩ニュータウンの高質なインフラを有効に活用し、技術革新に対応したフィールドとして位置づけ、まちづくりに先進的な技術を取り入れていく

（主に取り組むべき事項）

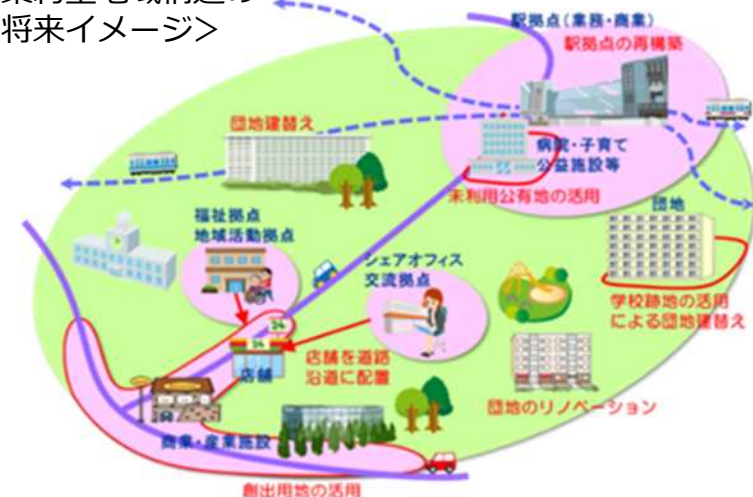
- ・先端的な技術の導入に資する実証フィールドの提供
- ・先端技術を活用したインフラの保守・維持管理
- ・自動運転の実現に向けた検討

■都市づくりのグランドデザイン <多摩地域の将来イメージ>



出典）「都市づくりのグランドデザイン」（H29.9 東京都）を一部加工

<集約型地域構造の将来イメージ>



出典）「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン」（H30.2 東京都）

- ・「都市づくりビジョン八王子」では、地域づくり方針として「買物を中心とした利便機能を高める生活拠点づくり」「移動しやすい交通環境づくり」「みどり豊かな自然環境と歴史を感じる景観づくり」等を位置づけている。
- ・「八王子市ニュータウンまちづくり方針」では、まちづくり方針と施策展開として、「移動しやすい環境づくり」「駅周辺地区のにぎわい推進」「留学生が生活しやすいまちづくり」等を位置づけている。

■都市づくりビジョン八王子

八王子市東部地域の将来像
 「みどり豊かな風景と、そこで育まれた歴史に触れあえる **都市の自立を先導する交流と活力のあるまち**」

主な地域づくり方針

- ▼多摩 NT 鍵水周辺の広域的・多面的機能を有する拠点づくり
 多摩 NT 鍵水周辺では、日常の利便・交流機能に加えて、**生活拠点の日常機能と一体となった防災機能を強化するとともに、リニア中央新幹線等のアクセス性を活かしたまちづくりを進めます。**
- ▼移動しやすい交通環境づくり
 都市計画道路 3・4・8 大塚小比企線の整備を図るとともに、**高齢者の外出支援等へ対応するため地域特性を考慮した多様な交通手段の展開**による移動しやすい交通環境づくりを進めます。
- ▼大規模開発住宅地の魅力づくり
 多摩ニュータウンや南陽台等の大規模開発住宅地では、**日常生活における買い物や福祉、子育て支援等のサービス機能の誘導や多様な交通手段の展開等**、住宅地の特性を考慮した住環境づくりを進めます。
- ▼みどり豊かな自然環境と歴史を感じる景観づくり
 市街地の背景となる多摩丘陵と、絹の道に代表される歴史と文化を感じる自然環境を活かした景観づくりを進めます。



※出典 「都市づくりビジョン八王子」 (H27.3 八王子市)

■まちづくり方針と施策展開

▶1 移動しやすい環境づくり

今後も高齢化が進行するなか、高齢者等の外出を支援する地域内の交通や新交通システム等、利用しやすく・移動しやすい環境づくりを推進します。また、多摩ニュータウンとJR八王子駅周辺を結ぶ地域間の交通としての役割が期待される多摩都市モノレールの延伸を促進します。

| 主要な取組 | 関係主体 |
|---|------------------|
| 移動しやすい地域づくりの促進 多摩ニュータウンの良好な都市基盤を活かし、 地域内の移動や買い物のための外出促進等による地域活力向上 のため、コミュニティサイクルやカーシェアリング等、移動しやすい仕組みを検討するとともに、ユニバーサルデザインのまちづくりを促進します | 行政 地域住民 企業 |

▶2 駅周辺地区(地区センター)のにぎわい推進

多摩ニュータウンでは、南大沢駅や京王堀之内駅に駅周辺地区(地区センター)が計画的に整備され、様々な商業施設が立地しています。駅前にふさわしい空間の維持に向けて、さらなる商業施設の立地促進を図ります。

| 主要な取組 | 関係主体 |
|---|----------|
| 駅周辺地区の商業施設等立地支援 駅周辺地区のにぎわい維持・推進 に向けて、南大沢駅周辺については南大沢総合センター(フレスコ南大沢)の活用を図るとともに、八王子市企業立地支援制度等を活用し、引き続き商業施設の立地促進を図ります。 | 行政 企業 |

▶3 留学生が生活しやすいまちづくり

多摩ニュータウンとその周辺の大学等に通学する留学生について、地域社会への参加や地域住民と交流する機会の創出を支援していきます。また、大学等と連携しながら、卒業後に日本での就職を希望する留学生の進路支援を推進します。

| 主要な取組 | 関係主体 |
|---|------------------|
| 留学生と地域との交流機会の創出 地域活動や語学力を活かしたボランティア等への留学生の参加を促進し、地域社会への参画を促進します | 行政 地域住民 企業 |

※出典 「八王子市ニュータウンまちづくり方針」 (H31.3 八王子市)

2-11. 地域ニーズ調査結果 ①概要

- ・回答者の年代別では、居住者は40~60歳代、来街者は20歳代以下~40歳代が多くなっている。
- ・南大沢地区への訪問目的では、居住者は日常の買い物目的が約8割、次いで通勤・通学やその他私用となっており、来街者は日常の買物が5割程度、次いで観光・レクリエーションとなっている。

方式：インターネットモニターWEB調査

居住者 n=245

来街者 n=790

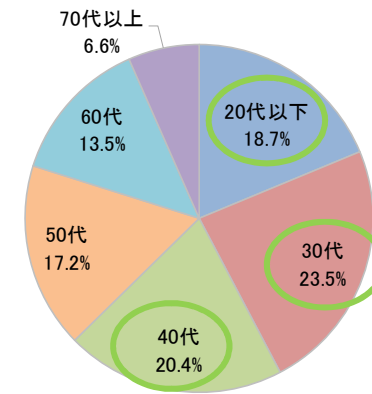
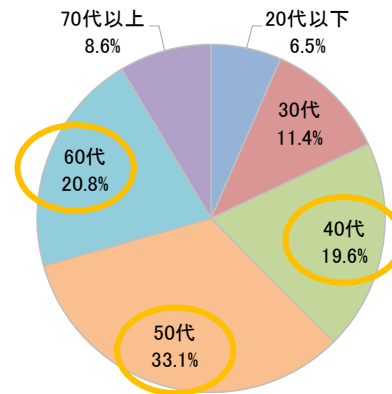
実施：2020年12月中旬

○回答者 年齢

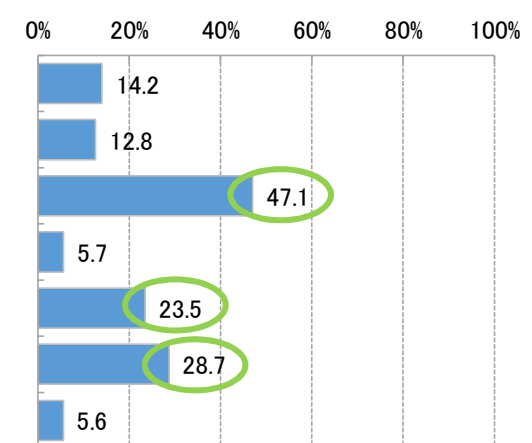
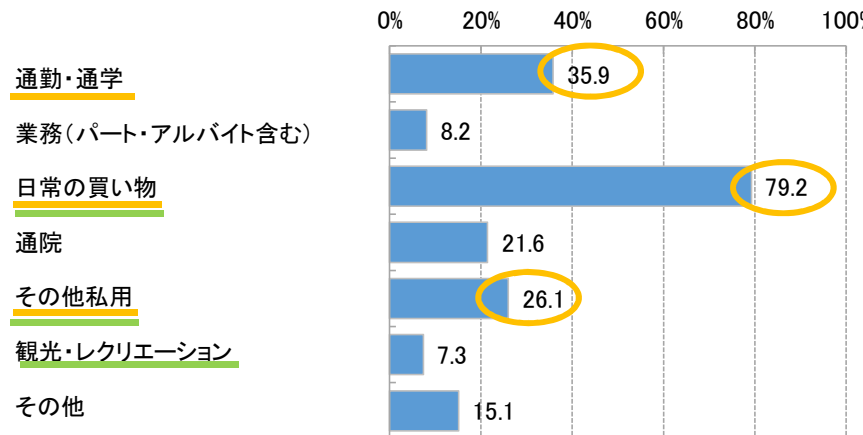
回収：1,035サンプル

備考：居住者 245サンプル
最寄駅を南大沢駅と回答、かつ住所が南大沢駅から概ね2 km圏内

来街者 790サンプル
南大沢駅周辺への立寄り経験



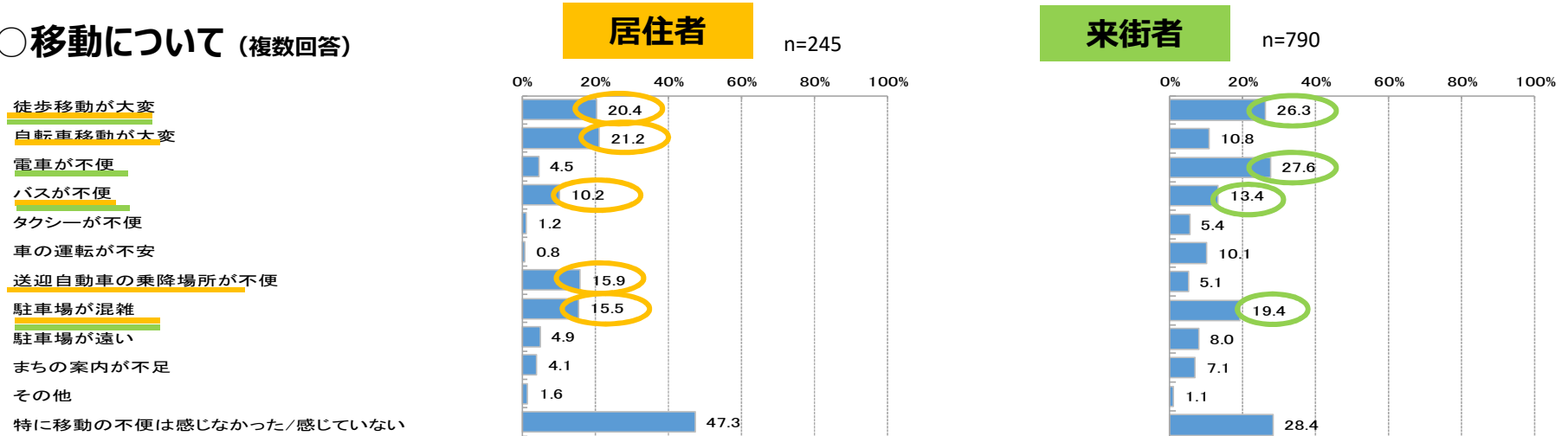
○南大沢地区への訪問目的 (複数回答)



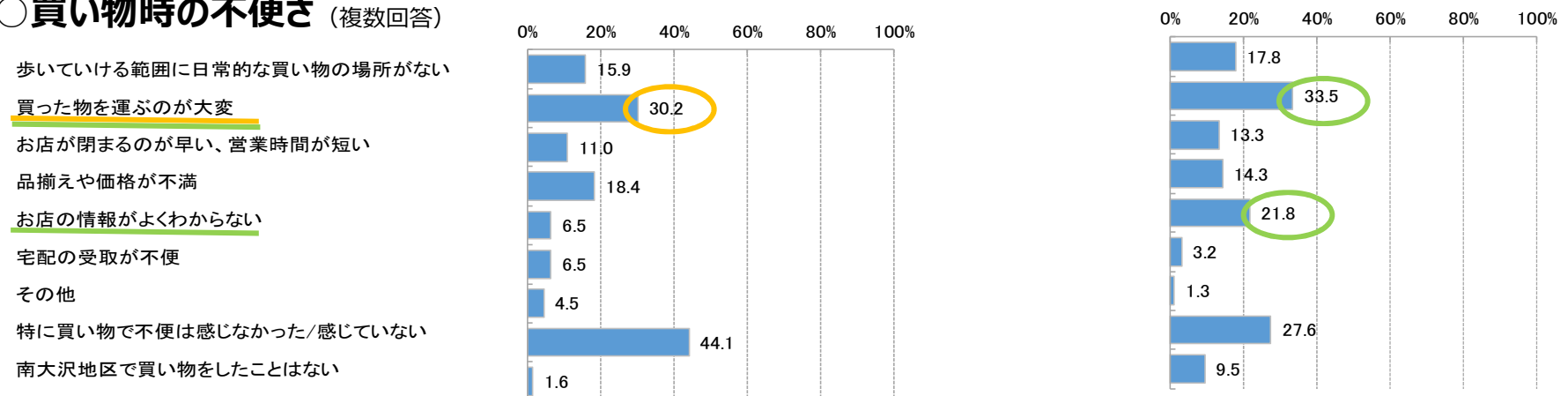
2-11. 地域ニーズ調査結果 ②移動と買物時の課題

- ・居住者は自転車、徒歩、バスの移動と、乗降場所、駐車場の混雑について大変や不便との意見が多い。
- ・来街者は電車、徒歩、バスの移動および駐車場の混雑の意見が多い。
- ・買い物では、居住者・来街者ともに購入後の運搬の不便さの意見が多い。
- ・来街者においては、店の情報の不足を指摘する意見が多い。

○移動について (複数回答)



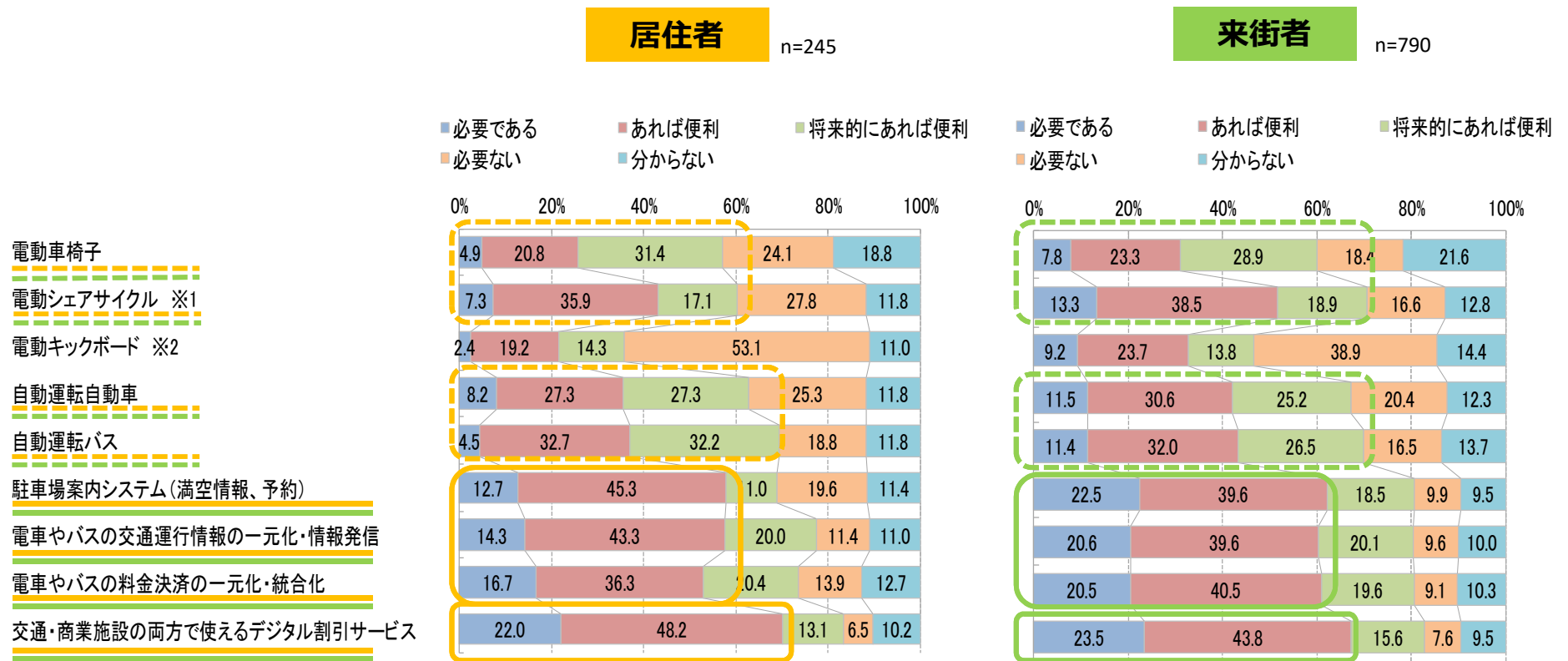
○買い物時の不便さ (複数回答)



2-11. 地域ニーズ調査結果 ③期待する交通サービス

- ・交通・商業の両方に使える割引サービスや、電車がバスの料金決済や交通運行情報の一元化、情報発信、駐車場案内システムへの意見が多い。
- ・将来的な期待を含めた回答では、電動車椅子、電動シェアサイクル、自動運転自動車、自動運転バスも多い。

○あつたらよいと思う交通サービスや乗り物（複数回答）



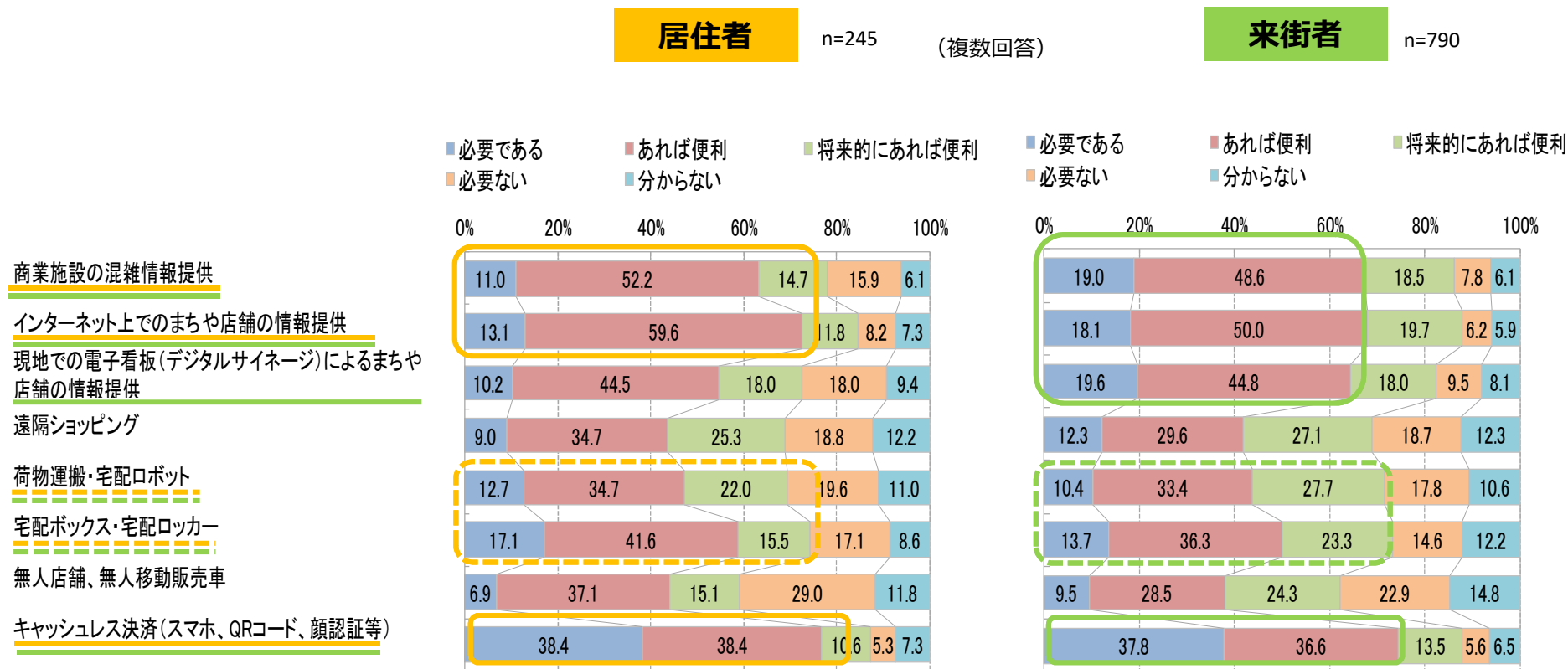
※1 電動自転車のレンタサイクリングサービス

※2 モーターを内蔵し走る自走式の二輪の乗り物

2-11. 地域ニーズ調査結果 ④期待する買い物サービス

- ・居住者・来街者ともに、キャッシュレス決済、商業施設の混雑情報提供、インターネットでのまちや店舗の情報提供への意見が多い。その他、来街者では、現地での電子看板によるまちや店舗の情報提供が多い。
- ・将来的な期待を含めた回答では、荷物運搬・宅配ロボットや宅配ボックス・宅配ロッカーの意見も多い。

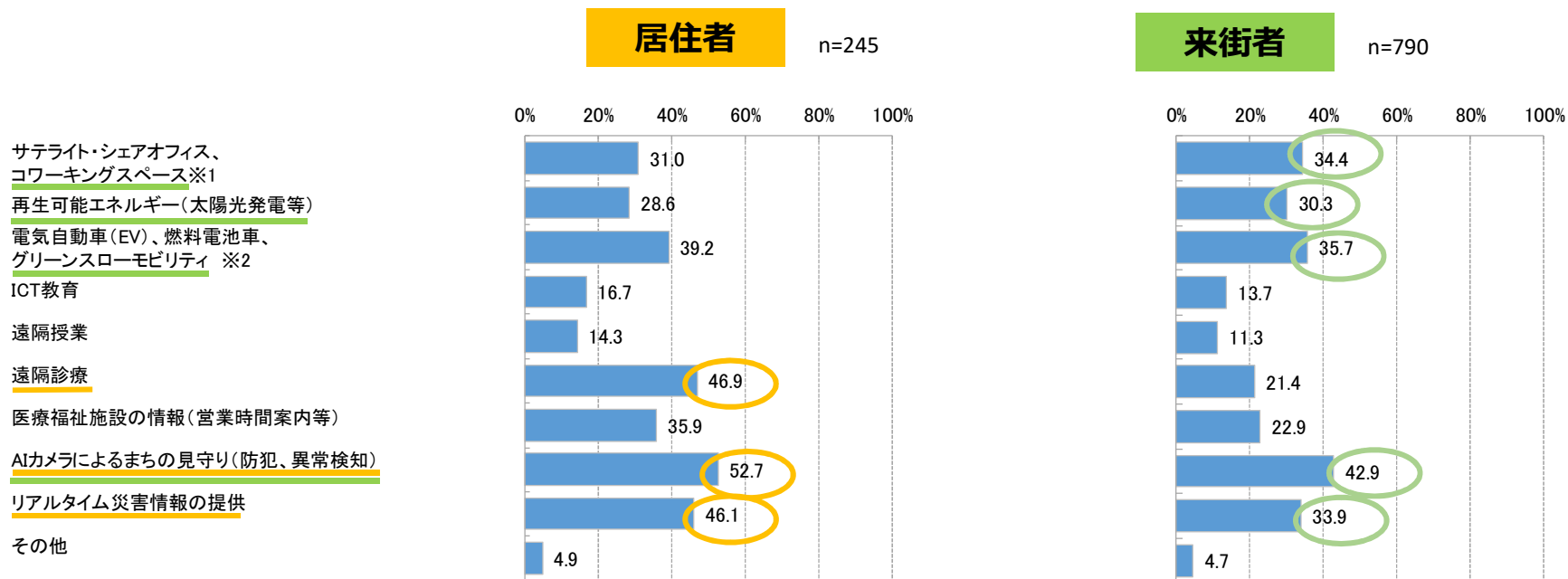
○買い物に関してあったらよいと思う先端技術やサービス



2-11. 地域ニーズ調査結果 ⑤期待するその他サービス

- その他のサービスは、居住者は、AIカメラ等によるまちの見守り、遠隔診療、リアルタイム災害情報提供の要望が多い。
- また、来街者は、AIカメラ等によるまちの見守り、電気自動車等、再生可能エネルギー、リアルタイム災害情報提供、サテライト・シェアオフィスの要望が多い。

○その他分野であつたら良いと思う先端技術について（複数回答）



※1 複数の企業や個人が設備を共有しながら仕事を行う場所

※2 時速20km未満で公道を走る事が可能な4人乗り以上の電動パブリックモビリティ

【周辺施設と人口の高齢化】

○周辺施設の立地

- ・商業、病院等は駅周辺に集中し、大学、公園等は3km圏内に複数が立地。

○人口の高齢化

- ・駅南側の住宅地では特に高齢化が高い割合。

【鉄道とバス、タクシー、自転車等】

○鉄道利用と駅端末の状況

- ・乗降は日6万人、駅端末利用の8割が徒歩。
- ・過去10年はバス、車、自転車の割合が増加。

○バス・タクシー・自転車等の乗換

- ・駅前交通ターミナルには、16系統発着し乗車バス停6か所存在も、リアルタイムのバス案内情報板等は未設置。
- ・タクシー乗り場は駅南側の駅前ターミナルに1か所。
- ・公営自転車等駐車場は6か所あり、定期利用中心。
- ・パーク&ライドに利用しやすい1日最大料金を導入は4駐車場。

○鉄道とバス・タクシー・自転車等の地区内移動

- ・バスは朝6時台から夜は24時台まで運行の路線も存在。
- ・ベビーカー利用時はバス利用をためらうとの意見。
- ・自転車シェアリングは南大沢駅周辺は未導入。
- ・居住者でバス、鉄道の情報の一元化への高い要望。

○車による駅周辺アクセス・駐車

- ・居住者で送迎場所が不便や駐車場が混雑との意見。

【公共交通サービスへの懸念】

- ・バス、タクシー等の担い手は高齢化や大量退職が懸念。
- ・人手不足により現状のサービスレベル維持は困難の懸念。
- ・市ではボランティアによる高齢者運送支援の対応。

【丘陵地からの駅・バス停アクセス】

○高低差や手荷物移動

- ・駅までの徒歩等移動は丘陵地の高低差で負担大。
- ・高齢者、子連れで買物荷物の手持ち移動は、特に負担第。
- ・歩車者ネットワークは施設内を経由する経路も存在。

○バス乗降時の負担

- ・住宅からバス停までアクセスが階段やスロープの場所が複数。
- ・高齢者は階段、坂の上り下りに大きな負担。
- ・遅延等発生時は到着時間が不明の状況で待つ必要。

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・自動運転車を導入したフィーダー交通等（都市づくりのランドデザイン）
- ・自動運転の実現に向けた検討（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）
- ・5G環境を活用した研究・実証実験等を推進（スマート東京実施戦略）

○八王子市

- ・「地域間の移動情報の充実」「歩きやすさと賑わいの創出に向けた交通環境の改善」（交通マスタープラン）
- ・移動しやすい交通環境づくり（都市づくりビジョン八王子）

課題

○鉄道とバス・タクシー・自転車等の円滑な乗換

○バス、タクシー、自転車等の地区内の快適な移動

○丘陵地の高低移動の負担軽減

○住宅団地から駅・バス停までのアクセス交通の確保

○ICTや先進的モビリティサービスを活用した人や環境にやさしい地域交通の確保

○商業賑わい関連施設立地等

- ・駅前には多数の店舗が立地し、コンパクトな空間に駅前商業集積を形成。広域からも集客。
- ・一部のビルには空き店舗スペースが存在。
- ・利用の偏り、入庫待ち等の駐車場問題。
- ・周辺ロードサイド商業は、場合により駅前商業と競合。
- ・周辺には、レクリエーション機能を担う公園が分布。

○周辺人口、来街者、イベント等

- ・周辺エリアの高齢化が進展。買い物の不便地域も存在。
- ・南大沢駅の乗降客数は、駅開業以来年々増加。
- ・駅前空間では多様なイベントも開催。
- ・駅周辺では高齢者や手荷物移動等には負担大。
- ・高齢者の外出促進の観点からも駅へのアクセス等が重要。

○商業活動

- ・南大沢は市民も買い物や食事によく利用する場所。
- ・店舗はコロナの影響による売上減、ただしスーパーは売上増加。
- ・キャッシュレス決済の進展。商業者側にもメリット。
- ・EC利用の増加。
- ・宅配需要増でラストワンマイル配送の負荷大。

○事業者ニーズ ※大手商業施設事業者

- ・まちの駐車場情報の共有、誘導策に関心。
- ・丘陵地の自動配送に関心。宅配需要が伸びる一方、トラックドライバー不足によるサービス低下の危機感。

○居住者・来街者ニーズ ※WEBアンケート結果

- ・居住者・来街者とも購入後の運搬の大変さ、駐車場問題を指摘
- ・来街者は、店の情報の不足を指摘する割合も高い。
- ・居住者・来街者ともキャッシュレス決済が必要との割合が高い

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・マルシェや子育て支援施設、ビジネスマンや留学生の交流、インキュベーション、効率的な物流施設・荷捌き施設（都市づくりのグランドデザイン）
- ・地区センターとして商業・業務施設や医療・福祉・子育て施設等生活を支える機能（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）

○八王子市

- ・魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち（八王子ビジョン2022）
- ・南大沢は東部地域の地域拠点として、商業、業務、生活支援サービス等の都市機能を担う（都市づくりビジョン八王子）
- ・イベント支援、ITやスマートフォンを活用した魅力発信、販路拡大としての買い物弱者対策等（八王子市産業振興マスタープラン）



- 課 題**
- まち案内等情報発信によるアクセス向上
 - 住民や来街者の回遊性・滞留性向上による賑わい創出
 - 駅前及び周辺地区での効率的な荷物搬送・物流の実現



○高齢化や情報入手ニーズの多様化

- ・70歳以上のインターネット利用は低い割合。
- ・高齢者のインターネット利用機器もパソコンが最多。
- ・留学生の増加で情報の受け手・スキルの多様化。

○新しい働き方や安心して快適な生活

- ・コロナ禍、ICTの進展により、テレワーク等の新しい働き方が増加。
- ・サテライトオフィスやシェアオフィス等は、駅周辺で未設置。
- ・コロナ禍で遠隔授業等も増加。
- ・遠隔診療の導入に関心持つ居住者は高い割合。
- ・防犯や異常検知等まちの見守りに関心持つ居住者は高い割合。

○地区や施設の混雑把握や公開

- ・地区レベルにおいて、人の集散状況等の把握や公開。
- ・コロナ禍において、一部施設での混雑情報等の把握や公開。

○鉄道、バス運行者による把握や公開

- ・鉄道車内の混雑予測情報をスマートフォンアプリで公開。
- ・駅前やバス停での案内板による路線や時刻の情報提供。バス接近情報は公開。
- ・利用者は、複数交通間の情報や決済の一元化を要望。

○低炭素なまちづくり

- ・再生可能エネルギーの導入や電気自動車等の普及、災害時のエネルギー確保による低炭素化への要望。

○防災と情報

- ・5G等による災害時の輸送やリアルタイム情報の高度化。
- ・リアルタイム災害情報提供に関心持つ居住者が高い割合。
- ・3Dデジタルマップとビッグデータによる災害予測の高度化。

○5Gとまちのインフラ

- ・5Gの整備は一部地区から開始。
- ・5G等の活用による自動運転タクシー、AR・VR、遠隔授業、遠隔医療等の多様なサービスの拡大・高度化が期待。

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・イノベーションを創出するインキュベーション施設等（都市づくりのランドデザイン）
- ・先端的な技術の導入に資する実証フィールドの提供（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）
- ・5G通信技術やビッグデータの活用等による実証実験（スマート東京実施戦略）

○八王子市

- ・「低炭素な都市づくり」（都市づくりビジョン八王子）
- ・「地域資源を活用した新たなビジネス創出」（ニュータウンまちづくり方針）
- ・「データに基づく政策形成」「AI、IoTを活用した新たなサービスの開始」（八王子市情報化計画）

課題

○コロナ禍における三密回避のための分散化

○だれもが安心して快適な地域の多様で即時性のある情報の活用や高度化

○多様な交流や連携を促進する機会や場の創出

○低炭素で環境にやさしく安全安心な質の高い地域拠点の形成